

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公開番号】特開2015-126904(P2015-126904A)  
 【公開日】平成27年7月9日(2015.7.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-044  
 【出願番号】特願2015-36625(P2015-36625)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月4日(2015.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、該遊技制御手段からの指令に対応して、可動物により遊技の演出を行う可動演出装置を制御可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記可動演出装置に対応して設けられ、信号端子に所定の電気信号が印加されることで駆動可能な駆動源と、

前記演出制御手段からの制御信号が入力されることで、前記駆動源の信号端子に電気信号を印加して駆動源を制御する駆動制御手段と、が備えられ、

前記演出制御手段は、

前記駆動制御手段にシリアルデータにて制御信号を出力する制御信号出力手段と、

前記駆動制御手段に駆動源への電気信号の印加を許可又は禁止するイネーブル信号を出力する出力規制手段と、

を備え、

前記出力規制手段は、前記駆動制御手段が初期化されている間において、駆動源への電気信号の印加を禁止し、

前記制御信号出力手段は、前記出力規制手段によって駆動源への電気信号の印加を禁止されている間に、前記駆動制御手段に前記可動演出装置を初期位置に設定するための前記制御信号を出力することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、従来技術の遊技機は、遊技機への電源投入時において、シフトレジスタの出力が不定であるために、電源投入時にステッピングモータが作動して、演出用の役物が作動することがあった。シフトレジスタの初期の出力には個体差があるので、電源投入時の初

期動作が遊技機毎に異なったものとなってしまう、製造時の出荷作業にて作業効率が悪いものとなっていた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記のような問題点を解決するためになされたもので、遊技機への電源投入時において、駆動源が誤作動を起こさないようにすることを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、該遊技制御手段からの指令に対応して、可動物により遊技の演出を行う可動演出装置を制御可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、前記可動演出装置に対応して設けられ、信号端子に所定の電気信号が印加されることで駆動可能な駆動源と、前記演出制御手段からの制御信号が入力されることで、前記駆動源の信号端子に電気信号を印加して駆動源を制御する駆動制御手段と、が備えられ、前記演出制御手段は、前記駆動制御手段にシリアルデータにて制御信号を出力する制御信号出力手段と、前記駆動制御手段に駆動源への電気信号の印加を許可又は禁止するイネーブル信号を出力する出力規制手段と、を備え、前記出力規制手段は、前記駆動制御手段が初期化されている間において、駆動源への電気信号の印加を禁止し、前記制御信号出力手段は、前記出力規制手段によって駆動源への電気信号の印加を禁止されている間に、前記駆動制御手段に前記可動演出装置を初期位置に設定するための前記制御信号を出力する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技機への電源投入直後における駆動源の誤作動を防ぐことができる

。